

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が発行する
「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資について

学校法人愛知学院（理事長：中村見自）は、2015年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みとして、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するCBI認証付きサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を決定しました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準注1)に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

また、本債券の発行により調達した資金は、環境負荷の低減や地域の生活に必要な不可欠な交通インフラの整備等に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）注2)の達成にも貢献するものです。

今後も本学院は、適切なリスク管理のもとで、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資など各種取り組みを実施し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

注1) 気候ボンド標準3.0版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2021年国際資本市場協会 ICMA）等

注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

本件に対するお問い合わせ先
学校法人愛知学院 財務部
052-751-2561（代）